爆発的にリストが集まるフロジェクトパンデミック

Project Pandemic

PMS実践編②

PMS

PANDEMIC MARKETING SYSTEM

著作権について

本書は、著作権法で保護されている著作物です。本書の著作権は、プロジェクトリバリッチーLibeRichーにあります。書面による事前許可なく、本書の一部、または全部をインターネット上に公開すること、転売することを禁じます。本書をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

使用許諾契約書

本契約は、本書を受け取った法人・個人(以下、甲とする)とプロジェクトリバリッチーLibeRich-(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本書を甲が受けとることにより、この契約は成立します。

第1条(目的)

本契約は、本書に含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 (第三者への公開の禁止)

本書に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本書の内容は、秘 匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる 第三者にも公開することを禁じます。

第3条(契約解除)

甲が本契約に違反した場合、乙はいつでもこの使用許諾契約を解除することができるものとします。

第4条(損害賠償)

甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、 違約金として、乙の指定する金額を支払うものとします。

第5条(その他・免責事項)

本書は、ご利用者の利益を保証するものではありません。本書に沿って実行し、期待通りの効果を得ることができず万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。インターネット上のサービスは変更がつきものです。永久にご利用できることを保証するものではありませんので予めご了承ください。

広告を利用してリストを獲得する

先週お渡しした「実践編」マニュアルの、まず自分のメディアを利用して紹介 する・・・というのは実践できましたか?

自分のブログで紹介するだけでも、少しずつリストは積み上がっていきますし、 ティア(拡散)の仕組みが発動し、ティアからもリストがどんどん積み上がっ ていくので、ぜひ出来るところから実践していってくださいね。

『実践編』(※一週目)のレポートはこちらから

http://www.pm-ms.com/files/pms3action1.pdf

では、今日は実践編の二週目に突入していきます。

二週目では、「広告」を利用してリストを増やしていくことに触れていきます。

広告を利用するということは当然、「広告費」という費用が発生します。

広告費は出稿先の広告媒体によって、2~3万円程度のものもあれば、 十数万円のものなど、発行部数や効果によって価格は様々です。

自分のメディアで情報を発信していく場合、 その規模感にもよりますが、紹介URLのクリック数は数十クリック。 規模が小さければ、数クリック程度のものだと思います。

少ないクリック数を積み上げ、コツコツとリストを獲得し、更には2ティア機能によってリストが増えていくという構図ですが、広告を利用することで、 一気に数を増やすことが出来ます。

既に何千、何万と読者がいる媒体でのメルマガ広告は、 1回配信するだけで数百クリックを叩き出します。

(タイミング、内容によっては 1 配信で 1,000 クリックを超える場合もある)

自分のメディアのみで地道に紹介を続け、1000 リスト集めるのに 1 ヶ月かかったものが、極端な話、広告を利用することでわずか 1 週間で 1000 リストを集めることが出来る・・・

それくらい威力のあるものだとお考えください。

つまり、時間と労力を金で買う。

これが広告を利用する最大の利点となります。

コツコツと自分のメディアを育ててリストを獲得するよりも、 多少コストをかけてでも一気にリストを獲得したい。

そんな方は、広告を活用することをお勧めします。

というよりも結果主義な僕の考えとしては、利用しない手は無いと思っています。以前レポートでもお話しましたが、「リストが全て」ですので、リストが無ければ収益もあがりません。

今流行りの無料オファーが良い例ですが、無料リストを得るために1件300円 や500円、1000円という報酬が支払われているのは、リストが重要であることを理解しているからです。

ですから可能ならすぐにでも広告を打ち、早い段階で結果を得て頂くことをお勧めします。

さて、話しを戻しますが、一言で「広告」と言っても様々なものがあり、価格 帯もバラバラです。

広告は大きくわけて「メルマガ広告」と「サイト広告」と二つに分かれますが、 今回は即効性の高い「メルマガ広告」に特化して話を進めたいと思います。 メルマガ広告は短期間で売上を伸ばしたい場合や集客を行いたい場合に、 **"必ず利用するもの"**と言っても過言ではありません。

先程も少し説明したように、1回掲載(配信)を行うだけで、 数百ものクリックが発生する、優良な広告も数多く存在します。

下記は広告利用時の結果です。

		- クリック計測			
広告名	分散 回数	アクセス 総数	成約数	成約率1	成約率2
	216	245	0	0%	0%
	357	525	0	0%	0%
	670	881	0	0%	0%
	993	1100	0	0%	0%

※ <u>「分散回数」がユニークのクリック数、「アクセス総数」がプレビュー数になります。</u>

広告の価格がそれぞれ、63,000円、73,500円、105,000円、198,000円

合計:439,500円 の広告を利用しました。

それに対して、獲得した件数は以下の通りです。



このように、広告を利用することで当然費用こそかかりますが、 これだけのリストを獲得することが出来ます。

<u>さらに、今後ここからティアでのリスト獲得も絡んでくるので、</u> 実際にはもっともっと獲得リストが増えることは間違いありません。

上記の例の場合・・・

439,500 円の広告費に対して、獲得できたリストは 653 件です。 つまり、1 件あたりのリスト獲得単価は「673 円」という計算になります。

(広告費 ÷ 獲得リスト数 = 獲得単価)

また、初回のリストがこれだけ集まるということは、ティアから集まるリストの数も膨大になっていくと予測されます。

絶対的な「分母」が大きくなるので当然と言えば当然ですが…。

初回(1段目)の獲得数で上記の獲得単価であれば、それ以降ティアによって「増え続ける」リストというのは全て無料ですから、当然獲得単価はドンドン下がっていくだけなのです。

流行りの「無料オファー」の単価と比較して頂ければ、その獲得単価は歴然としていますので、パンデミックで広告を使う事の「バカでかい可能性」が、よくお分かり頂けるかと思います。

また、リスト1件あたり3千円の価値があると言われていますが、 単純に計算すると、獲得したリストは以下の利益を生む計算になります。

(3,000円 × 獲得リスト数 (653件) = 1,959,000円)

広告費が 439,500 円ですから、 1,519,500 円の利益が生み出されることになります。

つまり、費用対効果は抜群に高いと言えます。

どんな内容の商品を紹介するのか?セールスページの成約率はどれくらいか?成約率をアップさせるためのキャンペーンなどは行われているのか?等など、あらゆるデータに起因するため、一概にこの数字がまるっと当てはまるわけではないけれど、リストを獲得していくことで、それくらいの売上をあげる可能性があるものだとお考えください。

それくらい、「リスト」というのは価値が高いものなのです。

僕が過去に利用してきた広告やジョイントベンチャー先からも評判が良い広告 の例をあげると、

柴野雅樹の『夢リタ通信』~IT 起業での成功法則~

http://www.mag2.com/m/0000204359.html

(参考クリック数:400~600)

川島和正の日刊インターネットビジネスニュース

http://www.mag2.com/m/0000181856.html

(参考クリック数:500~700)

デュアルライフアフィリエイター原田陽平の公式メールマガジン

http://archive.mag2.com/0000183298/index.html

(参考クリック数:200~400)

加藤賢の【ネットオークション成功法則】

http://archive.mag2.com/0000191189/index.html

(参考クリック数:200~400)

鬼った一号外広告

http://www.01biz.biz/mad/

(参考クリック数:200~400)

※ PMSの紹介URLがクリックされるので、見込みのクリック数=ダウンロード数とお考えください。

※ <u>配信する原稿の内容によって、クリック数は上下してきますので、上記の数</u>字はあくまでおおよその「平均」であり、参考としてお考えください。

ネットビジネス系ではこれらのメルマガが有名で、 リピーターも多く利用している優良な広告です。

ただ、1つ問題として上げるとすれば、僕のようにこの業界とつながりがあれば、こういった優良広告の情報がドンドン入ってきますが、ネットサーフィンしてるだけではそういった裏事情は知ることが出来ません。

出来るだけ僕も価値のある情報は発信していくつもりですが、 ここでは手っ取り早い方法を教えておきますね。

メルマガパートナー

http://www.ml-partner.com/

メルマガパートナーというサービスがあります。 簡単に説明すると、広告媒体を管理する仲介業者のようなものです。

<u>様々なジャンルの取り扱いがあり、1つのサイトで情報が得られるので、</u> 時間の短縮にもなってかなり便利です。

また、それぞれのこれまでの成果状況も分かっているので、 安心して利用出来ます。

でも、本当に効果のある広告を教えてくれるの?

というような不安もあるかも知れませんが、情報の早いインターネットの世界では、わざわざ評判を落とすような真似はしませんので安心して下さい。

(もしそのようなことがあれば、掲載されているメルマガ広告(提携先)から も煙たがられ、提携が解消されてしまいますから。。)

メルマガパートナーの利用には、問い合わせをすることが最初の1歩です。

予算や効果希望などをあらかじめ伝えれば、最適な広告を提案してくれます。

<メルマガパートナー問い合わせ>

http://www.ml-partner.com/proposal/

メルマガ広告のご相談(提案サービス)

「効果の高いメルマガ広告を出したい・・」

「どんなメルマガに広告を出せば良いか分からない・・・」

といった方のお悩み・不安に、メルマガパートナーの経験・実績がお役に立ちます。 ターゲット・目的、ご予算など条件に応じて、経験豊富な当社が、あなたのメルマガ広告選定をお手伝いします。

直接依頼されるより安価な広告料金でご提案いたします!

ユーザー情報を呼び出すにはログインしてください。 ➤ <u>広告主様ログイン</u> メール、もしくは以下のフォームよりお問い合わせください。

▶メールでのお問い合わせはこちら

フォームの場合は、以下にご記入いただき当社までご連絡ください。 後ほど担当者よりご連絡の上、 ご提案 させていただきます。(提案無料) ※土日・祝日のお問い合わせにつきましては、翌営業日以降の対応となります。

ご予算(目安)	約
ご計画内容・ご要望を 詳しくをお聞かせ下さい。	 広告内容 広告の目的 ターゲット 広告希望時期 出稿予定URL
メルマガカテゴリ (任意)	選択してください ‡
	□ ビジネスマン □ OL(働く女性) □ 妊婦・育児 □ 主婦 □ ファミリー

必要事項を入力して、返信を待つだけで最適な広告を提案してくれます。

今回の場合、

紹介するレポートは『ネットビジネス系』のレポートなので、まずはインター ネットで稼ぐことに特化したメルマガ媒体を利用していくと良いです。

また、ネットビジネス系以外のジャンルのメルマガ広告でも、反応が取れるものもあったりしますので、(例えば、FX や株式投資などのメルマガでネットビジネス系の広告を配信して反応が取れることもある)、今後違う切り口からのレポートを紹介し、広告を配信していくという場合には、違ったカテゴリで広告を模索してみると良いでしょう。

※記入例

■広告内容

ネットビジネスで稼ぎたいユーザーをターゲットに、無料でレポートを提供したい。

■広告の目的

ツール&レポートの提供

■ターゲット

ネットビジネスを始めたい。 ネットビジネスで稼ぎたい人。

■広告希望時期

いつでも可能

■出稿予定URL

<パンデミックで作成したあなたのURL>

■その他

費用対効果が高い場合、継続利用を検討しているため、 複数の媒体の提案を頂ければと思います。

結果が出るまでは広告費という予算を捻出することは不安かも知れません。

ですが、メルマガ広告の場合、配信とほぼ同時に反応が上がってきますので、その不安もなくなると思います。

リストが集まる > ティア(拡散)が始まる > さらにリストが集まる。

念を押して言いますが、このパンデミックはリストを集めれば集めるだけ、 拡散しさらにリストが集まります。

リストが増えれば増えるだけ、これからあなたがアプローチできるターゲット が増える訳ですからそれだけ収益も増えるようになります。

集めたリストでアフィリエイト!というのが、手っ取り早いマネタイズだと思いますが、その辺りもこれからお話していきますので、 まずは焦らずリストを集めることに注力してほしいと思います。

「せっかく集めたリストにアフィリエイトをしまくっていきなり反応がなくなってしまった・・・」

なんてことにならないように注意して下さいね;^^

今はまだ「仕込み」の段階ですから焦らず進めて下さい。

ご不明な点などありましたら、 いつでも下記メールアドレスまでご連絡ください。

info@pandemic-m. com

今週は以上です。

来週は『無料レポートを活用しさらにリストを集める方法』をお伝えしていきますので、楽しみにしていて下さい。

それでは!